



2024年1月 月例市長記者会見

日時：2024(令和6)年1月25日(木) 午前11時
場所：郡山市役所本庁舎2階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 項 目

3 質 問

※質問は、「項目」、「フリー」に分けて行います。

※幹事社
・読売新聞 ・福島放送

4 閉 会

【項目一覧】

- (1) (仮称) 歴史情報・公文書館の名称決定 資料1
- (2) 2024(令和6)年4月1日付け 行政組織改編 資料2
- (3) 軽自動車車検用判断システムの運用開始 資料3
- (4) 低所得者支援の対象拡大に係る追加給付
～デフレ完全脱却のための総合経済対策～ 資料4
- (5) タイで海外観光物産プロモーションを実施します 資料5
- (6) フードドライブ in 郡山市役所 資料6
- (7) 市制施行100周年記念事業
セーフコミュニティフェスタこおりやま 2024 資料7
- (8) 交通死亡事故多発全県警報発令に伴う本市の対応 資料8

実施日など	項目	備考
1/29(月) ～31日(水)	(6) フードドライブin郡山市役所	3R推進課
2/1(木)	(3) 軽自動車車検用判断システムの運用開始	市民税課
2/2(金) ～4(日)	(5) タイで海外観光物産プロモーション	タイ(バンコク)
2/3(土)	(7) セーフコミュニティフェスタこおりやま 2024	中央公民館



(仮称)歴史情報・公文書館の名称決定

2024（令和6）年度中の開館を目指し整備を進めている（仮称）歴史情報・公文書館について、名称は次のとおりになります。

1 名称

名称「郡山市歴史情報博物館」

《名称のコンセプト》

普遍性を持ち誰もがわかりやすい名称とする。

- ・本市の歴史的特質である「交流の歴史」「多様性」「境界性」の発信を図る施設であること。
- ・豊かな地域史像を発信する拠点施設となること。
- ・文化教育の振興に寄与する中核施設となること。

【特性】

博物館：様々な人々が集まり、学び、楽しみ、考え、未来と繋がる発見と創造の場。

公文書館：歴史資料として重要な公文書等の適切な保存と利用を図ることを目的とする施設。

※郡山市歴史情報博物館は、博物館機能、文化財収蔵機能に公文書館機能を併せ持つ施設。



2 事業スケジュール

2023(令和5)年度

2024(令和6)年度

2025年度

(仮称) 歴史情報・公文書館

(建築工事、収蔵棚制作、展示製作など)

開館

●
設置条例制定

●
設置条例施行

博物館の区分 (博物館法第2条、第31条)

※職員の配置や開館日数等により区分



博物館区分	内 容	市内の施設
登録博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集、保管する施設。 ・ 資料を展示し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行う。 ・ 国及び県が定める文化財の収蔵、保管環境などの一定基準以上が必要。 ・ <u>博物館登録原簿に登録されたもの</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郡山市歴史情報博物館 ※開館後申請予定 ・ 郡山市立美術館
博物館相当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>博物館の事業に類する事業を行う施設で、博物館に相当する施設として指定されたもの</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安積歴史博物館
博物館類似施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館と<u>同種の事業を行う施設</u> (登録又は指定を受けていないもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開成館 ・ 歴史資料館 ・ ふれあい科学館 ・ 文学の森資料館

軽自動車車検用判断システムの運用開始

～車検用納税確認のデジタル化～



2024年1月 月例市長記者会見
資料3 税務部市民税課

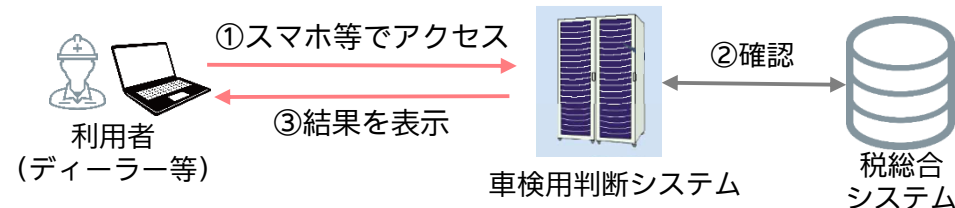
ウェブサイトで納税確認できるシステム（軽自動車車検用判断システム）を導入し、2月1日（木曜日）から運用を開始します。（中核市・県内初）

概要

Before (FAX確認の場合)



After (2/1～)



対象車両

郡山市で登録、課税している軽自動車（郡山ナンバー及び一部の福島ナンバー(※) 約95,000台)

※車検証の主たる本拠の位置が郡山市である車両。
利用の際は、事前登録が必要となります。

導入効果

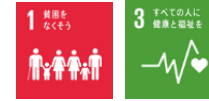
- ・オンラインのみで手続きが完結します。
（365日、24時間確認可能）
- ・これまでに確認に10～20分要していた手続きが、2分程度に短縮されます。

他自治体の状況等

- ・近隣都道府県で県の自動車税用確認システムの導入が進んでいます。
（福島県、宮城県、秋田県、千葉県、埼玉県、熊本県など）
- ・軽自動車税（市町村）のシステムとしては、本市が中核市及び県内で初の導入事例となります。

低所得者支援の対象拡大に係る追加給付

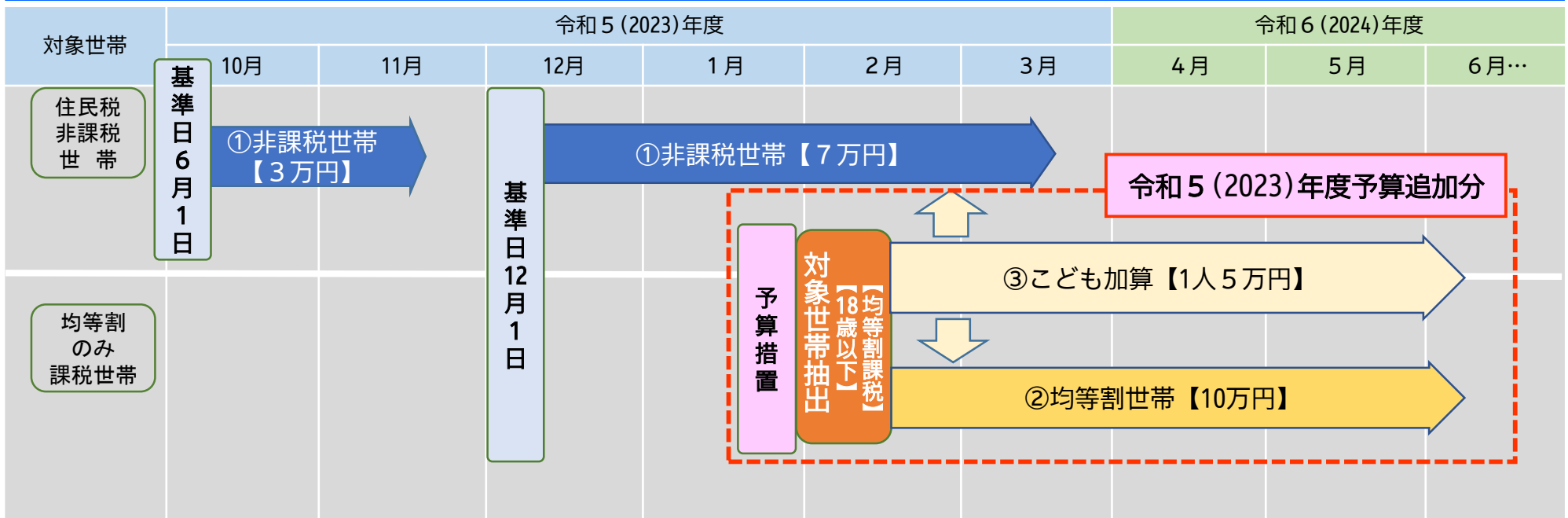
～ デフレ完全脱却のための総合経済対策～



財源：国（臨時交付金）
国費：均等割世帯×100,000円
こども加算人数×50,000円
事務費 10/10

給付対象世帯	対象世帯数（見込）	予算見込み
<p>【基準日】 令和5（2023）年6月1日 ①令和5（2023）年度分の世帯全員の住民税が非課税である世帯</p> <p>【基準日】 令和5（2023）年12月1日 ①令和5（2023）年度分の世帯全員の住民税が非課税である世帯 ②【追加】 令和5（2023）年度分の住民税均等割のみ課税世帯 ③【追加】 低所得世帯①②のこども加算</p> <p>※他市町村で給付金を受けた世帯を除く</p>	<p>① R5 非課税 約30,000世帯</p> <p>② R5（2023）均等割 約7,000世帯</p> <p>③ こども加算 （R5（2023）非課税 +均等割） 約5,000人</p>	<p>【R5（2023）予算追加分】</p> <p>給付額 950,000千円 事務費 121,100千円 計 1,071,100千円</p> <p>【扶助費内訳】 7,000世帯×10万円=700,000千円 5,000人 ×5万円=250,000千円</p>

給付スケジュール(予定)



タイで海外観光物産プロモーションを実施します



地域の「稼ぐ力」の回復・強化のため、農商工連携により、タイで観光物産プロモーションを実施し、円安を好機に特産品等の輸出拡大及びインバウンド観光誘客を推進します。

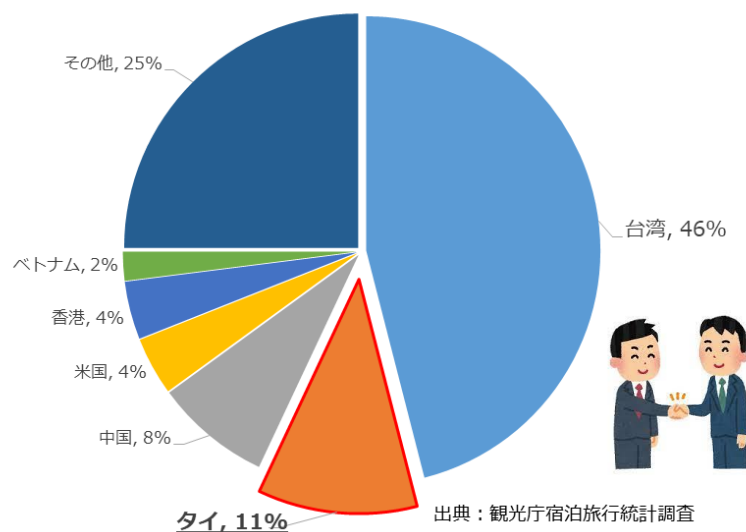
1. 背景

ジェトロ福島との連携

- 農林水産物・食品の日本からタイ向け輸出額は総額506億円で世界8位（タイ市場の醸成）
- 福島県ではタイを重点インバウンド市場に位置付け
- 県内外国人延べ宿泊者数は、台湾に次ぎ2番目（2023年1～10月）

福島県外国人延べ宿泊者の状況

【2023年1～10月】



2. 概要

- ◆ 「JAPAN EXPO THAILAND 2024」への出展
あらゆる分野の日本産品をタイに向けてPRし、現地企業とのマッチングを目的としているアジアで最大級の日本をテーマにするイベント
場 所：タイ バンコク
期 間：2月2日（金）～4日（日）
来場者：約50万人予定（3日間）
内 容：郡山市産品のPR販売（7社・27商品）
現地企業との商談会
アンケート調査の実施

- ◆ JETROバンコク、JICAタイ事務所、現地大学、病院、旅行会社の訪問及び意見交換

- ◆ 福島県県人会との交流（バンコク福島桃の会）

- ◆ 参加事業者等
笹の川酒造株式会社（日本酒・ウィスキー・焼酎）
株式会社宝来屋本店（醤油・味噌・甘酒）
榎（ゆずりは）園芸株式会社（干し芋）
株式会社小田原屋（調味料・漬物）
石筵養蜂園（はちみつ）
郡山市（関係部局）
※ふくしま逢瀬ワイナリー・株式会社郡山製館の商品は受託販売



<昨年度の様子>

1 概要

郡山市役所で実施し、市職員に使用しない食料品があれば持参するよう呼びかけます。

【実施期間】 2024年1月29日(月)～1月31日(水)

【実施場所】 郡山市役所3R推進課(本庁舎1階)

【対象】 市職員

⇒市職員のみで実施し、
今回の結果を踏まえ、次回以降検討。

「フードドライブ」とは、
家庭で使用しない食品を集め、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動。

2 集まった食料品の提供先

通年でフードドライブを実施している郡山市社会福祉協議会に引き渡し、子ども食堂などで使用します。



3 県内自治体の庁舎内フードドライブ実施状況

福島県庁、福島市役所、伊達市役所、須賀川市役所が実施しています。

4 集める食品の例

【フードドライブ対象品の3条件】

- ①個別に包装されているものは未開封のもの
- ②常温で保存できるもの
- ③賞味期限が1か月以上あるもの

特に、以下のような食品が喜ばれます

- ◎お米、パスタ、乾麺、カップラーメン
- ◎レトルト食品、インスタント食品
- ◎菓子類、缶詰、調味料 など



【対象外となるもの】

- ・生鮮食品(青果、生肉、魚介)
- ・アルコール類(みりん、料理酒は除く)
- ・製造者・販売者の表示がないもの
- ・手づくり品
- ・外国語表記のもの

郡山市制施行100周年記念事業 セーフコミュニティフェスタこおりやま 2024



2024年1月 月例市長記者会見
資料7 市民部セーフコミュニティ課
市民・NPO活動推進課

1 概要

- ◆日時 2024（令和6）年2月3日（土）
 - ・表彰式（多目的ホール） 13:30～15:00
 - ・展示・体験（ロビー） 11:00～16:00
- ◆場所 中央公民館
- ◆参加者
市民、セーフコミュニティ推進協議会委員、
外傷サーベイランス委員会委員、分野別対策委員会委員、
セーフコミュニティ賞・まちづくりハーモニー賞受賞者及び
関係者 等

- ✓ 市制施行100周年を記念し、これからの「安全安心なまちづくり」
「SDGsの推進」に繋がるものとする。
- ✓ セーフコミュニティ賞・まちづくりハーモニー賞の表彰、パネル展
示等を通じ、地域づくりに係る市民の理解促進、ウェルビーイング
なまちづくりの推進を図る。
- ✓ セーフコミュニティ課、市民・NPO活動推進課の協働で実施する。

セーフコミュニティフェスタは、
2018年2月の国際認証取得を記念し、毎年2月第1土曜日に開催。
2023年2月の国際認証取得後、初の開催。

2 内容

▶ セーフコミュニティ賞・まちづくりハーモニー賞表彰式(多目的ホール)

- セーフコミュニティ賞表彰 15団体、2個人（別紙一覧のとおり）
- まちづくりハーモニー賞表彰 14件（別紙一覧のとおり）
- セーフコミュニティ賞、まちづくりハーモニー賞
受賞者活動発表（各1団体）



▶ 展示、体験(ロビー)

- セーフコミュニティ賞、まちづくりハーモニー賞受賞者紹介パネル展示
- セーフコミュニティ分野別対策委員会活動紹介パネル展示
- ドライブシミュレーター（安全運転診断）※
- 自転車危険運転体験VR ※
- 予防救急・火災予防コーナー
- ユニバーサルデザインコーナー
- 地震体験車（屋外）

等



※あいおいニッセイ同和損保との包括連携協定に基づく連携事業

3 セーフコミュニティ賞受賞者（50音順）

受賞者名	主な活動内容
桑野四丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内を中心に、火の用心・不審者等の防犯パトロールを地域防犯隊や交番と連携し実施
郡山北地区交通安全協会片平支部	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多い交差点や小学校近くでの街頭啓発活動を実施 ・市や地域行事の交通整理実施
郡山北地区交通安全協会富田支部	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の街頭啓発活動を実施 ・カーブミラー点検、自転車のヘルメット着用の広報活動を実施 ・各世帯に反射たすきの配布
郡山市スポーツ・レクリエーション協会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで世代を超えて楽しむことができるニュースポーツ（13種目）の祭典を実施
郡山地区交通安全協会大槻東支部	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の街頭啓発活動を実施 ・地域行事の交通整理等を実施 ・高齢者宅訪問活動を実施
小原田こども見守り隊	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの下校時の安全確保、高齢者の移動時の安全確保、地域の防犯活動の実施
手話サークル「こおりやま」	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等で市民に聴覚障害者への理解や手話の啓発を実施 ・防災に関する手話教室を開催
昭和自警団	<ul style="list-style-type: none"> ・所有しているポンプ車及び消火栓の点検、防犯活動を毎回実施
特定非営利活動法人 郡山市聴力障害者協会	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催の防災訓練で、有事の事故防止方法などの周知を実施
七海 重義	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊豆島地区内の道路の草刈りやゴミ拾いを実施 ・上伊豆島環境保全会を立ち上げ、河川敷の草刈り等を実施
ハラクッチーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・富久山と緑ヶ丘で子ども食堂を運営し、児童生徒や保護者に対する相談活動等を実施
福島県中部地区郵便局長会 郡山第五地区部会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交通事故防止のため、緑ヶ丘地内に設置しているカーブミラーの清掃活動を実施
福島スポーツエンタテインメント株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の大切さとバスケの楽しさを融合したプログラムを実施
前林 正一	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の通学路で下伊豆島地区で草刈りやゴミ拾いを実施 ・過去には、藤田川河川敷に桜を植栽して地区の環境美化にも貢献
松ヶ丘 元気か〜い	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所で百歳体操を実施し、併せて自宅にある物を持ち寄り手先を使った作品作り等を実施
緑ヶ丘東一丁目町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の高齢者の見守りや介護予防活動、防犯パトロールの実施
三代こども育成会少年消防クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南小中学校の小学生が火災予防啓発活動として、三代区で防火パレードを実施

4 まちづくりハーモニー賞受賞者（50音順）

	受賞者名	主な活動内容
市民活動 実践部門	NPO法人レインボー88	<ul style="list-style-type: none"> • どのような子どもも食と体験を楽しめる子ども食堂を開催
	学校法人郡山学院（ケイセンビジネス公務員カレッジ・郡山学院高等専修学校）	<ul style="list-style-type: none"> • 献血活動を30年間継続 • 防災士取得の推進 • 学校周辺の美化活動及び猪苗代湖のひし刈り活動
	郡山室内楽興会	<ul style="list-style-type: none"> • 室内楽の演奏会を無料で30年間継続し、音楽の魅力を発信
	Koriyama City Guide “Gambappe Charinko” 郡山シティガイド がんばっぺチャリンコ	<ul style="list-style-type: none"> • 一本の水路をテーマに、インバウンド向けに案内するボランティアガイド
	性について語る会 ラシクの会	<ul style="list-style-type: none"> • 正しい性の知識を学ぶための講座を25年間継続 • 性についての悩みを語り合う定例会を開催
	高倉人形浄瑠璃座	<ul style="list-style-type: none"> • 高倉人形浄瑠璃の復活及び次世代継承のため、ワークショップや発表会を開催
	特定非営利活動法人こおりやま空家バンク	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家の課題解決のため、ワンストップで相談を受け付け、専門家につなぐ
	みんなの学校	<ul style="list-style-type: none"> • 譲り受けたランドセルなどの学用品を、必要な方に無償でおゆずり
	焼き芋屋HOKKORI	<ul style="list-style-type: none"> • 障がいを持つ子どもも楽しめる親子向け農業体験を開催
市民活動 応援部門	<ul style="list-style-type: none"> • 谷田川行政区 • やたがわ環境を守る会 • 福島県立岩瀬農業高等学校 	<ul style="list-style-type: none"> • 3者が協働で、宇津峰山の山野草群生地の復活のため、植栽活動を実施
	出張撮影サービスphotocca（フォトッカ）	<ul style="list-style-type: none"> • イベントで撮影した写真をSNSなどで情報発信することで、市民活動を応援
青少年・ 学校部門	郡山女子大学短期大学部	<ul style="list-style-type: none"> • 3月11日に郡山駅前で灯籠を展示し、震災の記憶を伝えるプロジェクトを実施
	郡山女子大学附属高等学校特別進学クラス研究部	<ul style="list-style-type: none"> • 小学生を対象としたプログラミング教室 • ロボットを用いたごみ分別 • 段ボールコンポストを用いた苗の成長比較
イベント 部門	楽都郡山DanceFES♪実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> • ダンスの魅力発信とまちなかのにぎわい創出のため、郡山駅前でフェスを開催

福島県内において、令和6年1月3日～1月18日までの間に6件の交通死亡事故が発生したことから、県内全域に交通死亡事故多発全県警報が発令されました。

- 1 発令期間 2024(令和6)年1月19日(金)から1月28日(日)までの10日間
- 2 種類 全県警報
- 3 対象地域 県内全域
- 4 重点事項 (1) 道路横断中の交通事故防止
(2) 高齢者対策の推進
(3) 速度抑制対策の推進



(1月23日イトーヨーカ堂にて街頭啓発)

■ 事故防止対策に向けての取り組み

○郡山市(郡山市交通対策協議会)

- ・SNS(webサイト・line・Facebook)での周知啓発
- ・庁内放送による周知啓発
- ・行政無線放送を活用し周知啓発
- ・本庁舎前にのぼり旗の設置
- ・本庁舎及び西庁舎のSCコーナーでチラシ及びモニターによる周知啓発
- ・1月23日、イトーヨーカ堂において、福島県、郡山警察署、交通安全協会、郡山市合同で街頭啓発を実施
- ・市役所全所属に対し、メールで注意喚起の実施
- ・市役所全職員に対し、ガルーンポータルを活用した注意喚起の実施

○郡山市(12地区交通対策協議会)

- ・公用車等による広報活動
- ・交差点付近での事故防止街頭啓発
- ・のぼり旗の設置

○郡山警察署・郡山北警察署

- ・街頭啓発(パトロール)
- ・スピード違反などの交通取り締まり強化

○交通安全協会・安全運転管理者協会・事業主会

- ・各地区交通安全協会による広報活動及び街頭啓発
- ・安全運転管理者協会及び事業主会の会員へ周知啓発

本市及び福島県の交通事故(人身)発生状況(1月23日現在)

	発生件数	死者数	傷者数
郡山市:本年(前年比)	25件(▲7件)	0件(▲4件)	27件(▲10件)
福島県:本年(前年比)	160件(4件)	7件(1件)	181件(▲5件)